



2月 ばなな組だより

尚徳福祉会 未長こぐま保育園 ばなな組

朝晩と冷たい風が吹き、冬の寒さを肌で感じるようになりました。気温が低くとも子どもたちは元気いっぱい。天気の良い日は公園や園庭で体を動かすことを楽しんでいます。

1月20日（土）は、懇談会、親子で遊ぼうふれあい会へのご参加ありがとうございました。子ども達の4月からの成長や、保育園で楽しんでいる姿を見ていただけたかと思います。また、保護者の方からのお話を聞くことができ、ご家庭の様子を知る良い機会となりました。今後も何かご意見がありましたらいつでもお知らせください。



ぼくみたい！？

車の玩具を繋げることが好きなAくん。ホールではいつも何台も連結させて楽しんでいます。あるとき、保育者がわざと繋がらない車を手に取り、「あれ？できない～！もう！ン！」と怒って見せると「あはは～！Aくん（自分）みたい！」と笑うAくん。自分もうまくいかず怒ってしまうことがある、と客観視しているようです。また、それを見ていたBちゃんは保育者に「それはくつかないよ、こっちだよ。」と優しく言い、連結できる車を2台持ってきてくれました。

保育者の姿に自分を重ねたり困っていると助けてくれたりと、それぞれの反応に成長を感じたできごとでした。

タイヤやマット、どう使う？

最近は屋上で遊ぶこと多くなっています。保育者がタイヤを立てて転がしていると「やってみたい！」と興味津々な子ども達。自分で転がしてみますが、どうしてもバランスが崩れて倒れてしまいます。タイヤは重いので起こすのは大変！初めのうちは一緒に持ち上げていましたが、最近は力がついて自分で「よいしょ！」と起こせる子が出てきました。お友だちのタイヤが倒れてしまったときには「やってあげる」と言って助ける姿も見られます。また、マットを出すとタイヤの穴に差し込んで壁のようにしたり、2枚を持ち歩いて電車ごっこをしたりと自由な発想で楽しんでいます。組み合わせ方で様々な遊びが生まれ、子ども同士の関わりが増えてきました。



きれいに洗おう♪

食前や外から帰ってきたときは手洗いをしています。今まででは保育者が手を添えて洗うことが多かったのですが、「自分で！」と言って援助を嫌がる子が出てきています。しかし自分で洗おうとすると、手の甲や指先など細かいところを洗い忘れてしまう様子……。そこで体操のときに「あわあわてあらいのうた」をかけてみると、何名かの子が興味を示し、保育者の真似をしていました。何度かやっていくうちに、手洗いのときも思い出して歌の手順通りに洗う姿が見られるようになりました。まだ始めたばかりなので数人ですが、これからも歌いながらしっかり感染予防をしていきたいと思います♪